

# 左 京 医 報

2023—11

LVIII—7 (691)



『夏の尾道水道』

葵1班 久保田 豊先生

# 目 次

2023年11月号（691号） 題字 平 澤 興 先生

表紙写真・文章	葵1班 久保田 豊	1
理事会記録		3
左京医師会学術講演 要旨		
「腎性貧血の診かた」	… 京都府立医科大学腎臓内科 玉 垣 圭 一 先生	10
令和5年秋京都府医師会懇親ゴルフ大会報告		
「こんしん」	… 松 岡 秀 樹	12
緑壽会の出席	… 吉 川 順 介	22
追 悼		
故 郷原望美先生 ご略歴		24
左京医師会 講演会等の予定		25
随 筆		
「疎水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」		
第七話「明石博高、レーマン兄弟、ワゲネル、		
島津源蔵が紡いだ京都の事業創生」(その2)		
	山 下 敬 司	26
「子夜呉歌」	… 渡 邊 和 朗	37
編集後記	… 兵 庫 美 砂 子	39

左京医報 表紙募集!!

会員の皆様の写真や絵画などを募集しています。  
左京医師会事務局までご連絡ください。

## 表紙のことば

### 『夏の尾道水道』

葵1班 久保田 豊

夏休みに家族で尾道を訪れました。山の中腹にある千光寺公園から眺める尾道市街、尾道水道の風景です。

火傷しそうな強い日差しに照り付けられ、ゆっくり散策できる状態ではありませんでしたが、突き抜けるような青空と吹き渡る潮風は、しばし厳しい暑さを忘れさせてくれました。尾道水道を行き来する渡し舟、海を臨む階段や路地、点在する寺院など、尾道はノスタルジーを掻き立てる風景に溢れていました。展望台を降りてから、中華そばの人気店にも行きました。港町なので魚介の出汁かと思いきや、鶏ガラのスープでしたが、甘みのある深い味わいの細麺で美味しかったです！

# 一般社団法人左京医師会令和5年度第11回定例理事会

日 時：令和5年9月22日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田・赤木・西村・細谷・山下・青木・原山・佐藤・早野  
久保田・児玉・平竹・松本・松木・八田・市田（Web参加）・川勝監事  
伊地智監事・米田監事

## I. 報 告

### 1. 会長報告

1) 9月4日（月） 和田泰三先生（癸1班・A'）がお亡くなりになりました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

2) 9月16日（土） 地区医師会長と保険医協会との懇談会（ハイブリッド開催）

於：京都府保険医協会

3) その他

来訪, 会合, 他

1) 9月24日（日） 左京区民ふれあいまつり2023

10時

於：左京区役所

2) 9月25日（月） 令和5年度第2回左京区地域福祉推進委員会

14時

於：左京合同福祉センター

3) 11月18日（土） 京都府医師会との懇談会 14時

於：国立京都国際会館

4) 11月19日（日） 2023年度（第5回）京大病院地域連携の集い（ハイブリッド開催）

15時

於：芝蘭会館

5) その他

### 2. 庶 務

1) 9月27日（水） 第5回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）

於：京都府医師会館

2) 11月18日（土） 京都府医師会との懇談会 14時

於：国立京都国際会館

3) その他

### 3. 地域医療

1) 9月11日（月） 事業者連絡協議会例会（Web開催）

出席；2名

2) 9月15日（金） 認知症部会（ハイブリッド開催）

出席；17名

於：国立京都国際会館

- 3) 9月15日(金) 在宅医療部会(ハイブリッド開催)  
出席;13名 於:国立京都国際会館
- 4) 9月24日(日) 左京区民ふれあいまつり2023  
10時 於:左京区役所  
塩見聡史先生、松下匡孝先生、十倉孝臣先生、藤田寧子先生、  
青木信裕先生、原山拓也先生、佐藤尚志先生、児玉直俊先生、  
松本早苗先生、松本正史先生
- 5) 10月10日(火) 第30回ワンコイン学習会(Web開催)  
「睡眠と認知症」～睡眠衛生と適切な薬物療法を考える～  
西村伊三男先生 18時
- 6) 10月21日(土) 第31回左京医師会認知症研究会  
「アルツハイマー病における疾患抵抗性機序の解明  
～リバーストランスレーショナルリサーチで紐解く～」  
京都大学大学院医学研究科  
医学専攻脳病態生理学講座臨床神経学 准教授 葛谷 聡先生  
14時30分 於:ウェスティン都ホテル京都
- 7) 10月28日(土) 令和5年度京都市総合防災訓練  
細谷泰久先生 12時30分 於:みやこめっせ
- 8) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター
- 9) その他

#### 4. 情報広報

- 1) 10月2日(月) 情報広報委員会(Web開催) 14時
- 2) 医報
- 3) その他

#### 5. 学 術

- 1) 9月16日(土) 「腎性貧血の診かた」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 腎臓内科学  
講師 玉垣圭一先生  
出席;42名 於:ウェスティン都ホテル京都
- 2) 10月21日(土) 「アルツハイマー型認知症の診断と治療  
～BPSDに対する漢方薬の応用～」  
社会医療法人文珠会 亀田北病院 院長 宮澤仁朗先生  
16時 於:ウェスティン都ホテル京都
- 3) 11月18日(土) 「慢性痛治療アップデート」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 疼痛・緩和医療学教室

教授 天谷文昌先生 16時 於：国立京都国際会館

## 6. 社 保

## 7. 福 祉

- 1) 9月9日(土) 緑壽会  
出席；17名 於：竹茂楼
- 2) 9月23日(土・祝) 令和5年度京都府医師会懇親ゴルフ大会  
3名参加予定 於：亀岡カントリークラブ

## 8. 税 務

## 9. 会 計

## 10. そ の 他

## II. 議 事

- 1) 医療法人悠仁会百万遍クリニック(養正1班・重富博之先生) 診療時間変更届について →承認
- 2) 井手医院(養徳班・井手真理子先生) 診療時間変更届について →承認
- 3) つとう医院(養徳班・伝 俊秋先生) 診療時間変更届について →承認
- 4) 左京三師会について →承認
- 5) 連携支援センターコーディネーターの退職金について →承認
- 6) 令和6年1月27日(土) 区民公開講座のパネリストについて →承認
- 7) 10月、11月の理事会会場について(10/13、11/10、11/24) →承認
- 8) その他

次回理事会：10月13日(金)

文責：八田、兎玉

# 一般社団法人左京医師会令和5年度第12回定例理事会

日 時：令和5年10月13日（金）

場 所：国立京都国際会館

出席者：塩見・松下・十倉・藤田（Web参加）・三嶋（Web参加）・赤木（Web参加）  
西村・細谷・山下・青木（Web参加）・原山（Web参加）・佐藤（Web参加）  
早野・久保田（Web参加）・児玉（Web参加）・平竹（Web参加）  
兵庫（Web参加）・松本（Web参加）・松木・八田・市田（Web参加）  
川勝監事（Web参加）・伊地智監事（Web参加）・米田監事（Web参加）

## I. 報 告

### 1. 会長報告

- 1) 9月24日（日） 左京区民ふれあいまつり2023 於：左京区役所
- 2) 9月25日（月） 令和5年度第2回左京区地域福祉推進委員会  
於：左京合同福祉センター

3) その他

来訪、会合、他

- 1) 11月18日（土） 京都府医師会との懇談会 14時 於：国立京都国際会館
- 2) 11月19日（日） 2023年度（第5回）京大病院地域連携の集い（ハイブリッド開催）  
15時 於：芝蘭会館
- 3) 12月2日（土） 左京三師会 16時30分 於：ザ・プリンス京都宝ヶ池
- 4) 令和6年2月17日（土） 京都府保険医協会との懇談会  
14時 於：ウェスティン都ホテル京都
- 5) その他

### 2. 庶 務

- 1) 9月27日（水） 第5回地区庶務担当理事連絡協議会（ハイブリッド開催）  
於：京都府医師会館
- 2) 11月18日（土） 京都府医師会との懇談会 14時 於：国立京都国際会館
- 3) 12月2日（土） 左京三師会 16時30分 於：ザ・プリンス京都宝ヶ池
- 4) 令和6年2月17日（土） 京都府保険医協会との懇談会  
14時 於：ウェスティン都ホテル京都
- 5) その他

### 3. 地域医療

- 1) 9月24日(日) 左京区民ふれあいまつり2023  
出席; 11名 於: 左京区役所
- 2) 9月25日(月) 左京区地域ケア連絡協議会・運営委員会  
出席; 2名 於: 左京区役所
- 3) 10月4日(水) 左京区事業者連絡協議会代表者会(Web開催)  
出席; 2名
- 4) 10月10日(火) 第30回ワンコイン学習会(Web開催)  
「睡眠と認知症」～睡眠衛生と適切な薬物療法を考える～  
西村伊三男先生 18時
- 5) 10月16日(月) 左京区事業者連絡協議会研修会(Web開催)  
「知っておきたい糖尿病の最新情報(仮)」  
原山拓也先生 14時30分
- 6) 10月19日(木) 左京健康講座2023  
「運動は万能! 歩行と体操で健康寿命延伸を」  
京都府立医科大学大学院医学研究科  
リハビリテーション医学 講師 川崎 敬先生  
①13時30分～ ②14時30分～ 於: 左京区役所
- 7) 10月21日(土) 第31回左京医師会認知症研究会  
「アルツハイマー病における疾患抵抗性機序の解明  
～リバーストランスレーショナルリサーチで紐解く～」  
京都大学大学院医学研究科  
医学専攻脳病態生理学講座臨床神経学 准教授 葛谷 聡先生  
14時30分 於: ウェスティン都ホテル京都
- 8) 10月28日(土) 令和5年度京都市総合防災訓練  
細谷泰久先生 12時30分 於: みやこめっせ
- 9) 京都市左京区在宅医療・介護連携支援センター
- 10) その他

### 4. 情報広報

- 1) 10月2日(月) 情報広報委員会(Web開催)  
出席; 10名
- 2) 医報
- 3) その他

## 5. 学 術

- 1) 10月21日 (土) 「アルツハイマー型認知症の診断と治療  
～ BPSD に対する漢方薬の応用～」  
社会医療法人文珠会 亀田北病院 院長 宮澤仁朗先生  
16時 於：ウェスティン都ホテル京都
- 2) 11月18日 (土) 「慢性痛治療アップデート」  
京都府立医科大学大学院医学研究科 疼痛・緩和医療学教室  
教授 天谷文昌先生 16時 於：国立京都国際会館

## 6. 社 保

## 7. 福 祉

- 1) 9月23日 (土・祝) 令和5年度京都府医師会懇親ゴルフ大会  
3名参加 於：亀岡カントリークラブ

## 8. 税 務

## 9. 会 計

## 10. そ の 他

- 1) Gmail 送信不具合の解消について

## II. 議 事

- 1) 小宮耳鼻咽喉科医院 (養徳班・小宮精一先生) 診療時間変更届について →承認
- 2) 松木整形外科クリニック (岩倉南班・松木正史先生) 医療機関名および  
診療時間変更届について →回覧 (明德、上高野)
- 3) 草場内科医院 (第三錦林班・草場昭彦先生) 診療時間変更届について →承認
- 4) 笹ヶ迫奈々代先生 (北白川2班・B・日本バプテスト病院) 入会申込書について  
→承認
- 5) しげまりこ皮膚科クリニック (松ヶ崎班・小野麻梨子先生) 医療機関名および  
管理者氏名変更届について →承認
- 6) 医療法人中村医院 (修学院第二班・中村 任先生) 診療時間変更届について →承認
- 7) 洛陽病院 (明徳班・松本研二先生) 診療科目変更届について →承認
- 8) 渡辺医院 (第三錦林班・渡辺和朗先生) 診療時間変更届について →承認
- 9) 公益社団法人信和会川端診療所 (新洞錦林班・田中義浩先生)  
診療科目変更届について →回覧 (新洞錦林、第4錦林)
- 10) しもがも西尾クリニック (葵2班・西尾佳子先生) 診療時間変更届について →承認



- 11) 「かかりつけ医と多職種連携に関する調査研究（郡市区医師会における多職種連携の取り組みに関するアンケート調査）」への協力について →承認
- 12) 令和5年度左京三師会会場について →承認
- 13) 京都府医師会との懇談会テーマについて →承認
- 14) 京都糖尿病医会地域学習会の日程について →承認
- 15) その他

次回理事会：10月27日（金）

文責：松木、佐藤

#### 個別相談の受付

一般社団法人左京医師会では、大谷会計事務所のご厚意により、税務・経営・資金等に関する無料個別相談を開催しています。公認会計士、税理士が1回30分程度でご相談に応じますので、希望される会員は事務局までお申し出ください。相談曜日は、第2月曜日14時から16時までとなります。

ただし、相談内容に関して左京医師会は一切関与しませんので会員の自己責任でお願いいたします。

一般社団法人左京医師会

## 腎性貧血の診かた

京都府立医科大学大学院医学研究科 腎臓内科学

講師 玉垣圭一先生



腎性貧血は、腎機能の低下によりエリスロポエチンが十分に作られず、赤血球の産生が低下することで起こる。尿毒症性毒素による赤血球造血の抑制や、血中ヘプシジン上昇による鉄利用障害など、さまざまな因子の関与も想定されている。腎性貧血は腎機能の低下とともに進行していることを確認し、鉄代謝指標、網赤血球数、MCV 値などを用いて鑑別診断を行う。貧血の治療によって、輸血の必要性を減少、QOLの改善、運動能の改善、心機能の改善・保持、腎機能の保護、生命予後の改善といった効果が期待される。

保存期慢性腎臓病（CKD）患者では、Hb 11g/dL 以上13g/dL 未満を維持するように治療を行う。患者背景に応じて、身体活動度が高い患者では Hb 目標値を高めを設定する。心筋梗塞や脳卒中の既往、悪性腫瘍を有する患者では、Hb 目標値を低めにする。薬物療法としては、赤血球造血刺激因子製剤（ESA）もしくは低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素（HIF-PH）阻害薬に、鉄剤を併用する。ESA は注射薬で、長時間作用型の製剤を 4 週ごとに用いる。急激な Hb 増加は血圧上昇のリスクとなるため、週当たり Hb 0.5g/dL 以内の上昇を目安とする。鉄欠乏は ESA 低反応性の原因となり、また血小板増加を介して血栓塞栓症のリスクを上げるため、トランスフェリン飽和度 (TSAT) <20% またはフェリチン <100ng/mL では鉄補充療法が必要となる。

HIF-PH 阻害薬は新しい機序の経口薬で、国内では現在 5 剤の使用が可能である。注射の痛み、通院頻度のしんどさが無くなるのがメリットで、一方、内服薬が増える、アドヒアランスの懸念といったデメリットもある。現時点で避けるべき患者として、悪性腫瘍、活動性の糖尿病網膜症、加齢黄斑変性症、多発性嚢胞腎が挙げられる。HIF-PH 阻害薬の開始にあたっては、Hb 濃度の急な上昇や低下に注意する。また鉄利用の亢進で鉄欠乏を生じやすいため、鉄剤併用を積極的に検討することが望まれる。



# 「こんしん」

## —令和5年秋京都府医師会懇親ゴルフ大会報告—

養徳班 松岡秀樹

### 1. えんせい

全世界を大混乱に陥れた新型コロナも、本年5月よりインフルエンザと同様の5類感染症に位置づけられ、マスクを外すものも多く9月末現在第9波の最中だと言われており、当院にも毎日患者が来院する。しかし毎度書くことだがゴルフラウンドがクラスターとなって問題になったことはない。素足にローファーのあの俳優がアフターゴルフで酒池肉林の宴会、19番ホールでのご乱行の結果クラスター発生を招きゴルフの評判が悪くなった。左京ゴルフ同好会・ひーさん会のメンバーにはそんな猛者はいない(苦笑)ので、山添企画による恒例の遠征を長野県蓼科高原で行った。7月15日長野県茅野駅へ、徒歩1分の「ちのステーションホテル」。さらに徒歩1分の「さくらさく」で夕食。さすがは信州、「さくら」すなわち馬肉料理店。特上霜降り刺し、赤身ロース刺し、厚切りヒレ刺し、カルビ。肩ロースさくら鍋などで舌鼓。明治のころ牛肉が高く安価な馬肉を牛肉と偽って出したことから、偽ものという意味の「さくら」となったとは蘆ッシー(これではアシッシーなんだが、漢字が入った方がわかりやすいので)の蒞蓄。昨年と違いアルコールもちゃんと出てきて、皆さん満足。蘆ッシーの医動物学講座が今年の鯖寿司アニサキスのお勉強に続いて、今年はキャンピロバクターについて、生肉は危険だと。牛、羊、野鳥、鶏などの腸管内に常在菌として存在。下痢、腹痛、発熱、悪心、嘔吐、頭痛、悪寒、倦怠感などでの来院時、鶏生肉摂取既往で容易に診断。また京都大学医学部近くの有名鶏肉料理店での会食後、講義途中トイレへ駆け込んだ教授以下教室全員が嘔吐下痢に苦しんだという山ちゃんの話、鶏肝の刺身は特に危険だとか。そういえば数年前に叡電鞍馬駅近くでの宴会で鶏肝の刺身が出た時に彼だけこれはあかんとしゃぶしゃぶにして食べていた。

翌朝食はホテル地下食堂にてバイキング、種類も少なく食べるものが無いとこぼすメンバーも。終戦後の食糧難芋蔓汁を飲みギブミーチョコレート時代の私はさほど苦にならず完食。昨年箱根でタクシーがなく、急遽バスになって困ったので、今年はレンタカー2台、運転は米ッチ、柴ッチの若手2人、ご苦労さんです。途中鬱蒼たる三井不動産の森、小洒落た別荘が次々、東京から2時間で来られる利便の地、ガレージに高級車数多い。いよいよ三井の森蓼科ゴルフ倶楽部へ。網笠山・赤岳(標高2,899m)を最高峰に蓼科山迄連なる「八ヶ岳連峰」の麓、標高1,200mに位置するゴルフ場。山の上だがフラットでフェアウェイ広く、コースメンテナンスも良い林間コース、口コミ4.5の高評価立派なコース。この日京都では38℃熱中症アラート発令猛暑、天下の避暑地蓼科高原、下界とは段違いの清涼な空気。



写真1 三井の森ゴルフ倶楽部 背景に八ヶ岳連峰

1組目は、廣崎彰良、峯松壮平、山際善博、柴田修宏、私はAクラスとか言われて蘆田潔、山添善博、米田武史と2組目。からまつコース1番ロングホール・パー5、私のティーショットは3人の遙か手前、やっぱり老人がこんな3人と回るのは無理があると打つセカンドショットはクリーク、トップ気味ながらそこそこ距離は行ってる。サードショット150yの打ち下ろし、7番アイアンまたまたトップのライナーがグリーン手前から転がって、ピン右横2.5mにオン。オイオイついてるやんけ、(訂正)ほんまに上手いこといきましたどすねん。ただ数年来続くパッティングイップス、全く自信はなかった。グリーンは受けグリーンなのでかなりのフックライン、カップまではレベル(?)、キャディーさん「フックしません、真っ直ぐです」しかも「登りです、しっかり打って下さいよ」と。半信半疑で打ったらコトンと入ってしまった、バーディー4。敵の一人がトリ8を打ってバーディー賞も付きラスベガスは50点も勝ち。

キャディーさんと言えば我々のキャディーさんは歳の頃は30代?40代?のかかなりの美人、私には女性の歳はよくわからないのだが、まさかの50代(?)、マスク美人(?)、顔

はゴルフには関係なくどうでもいい（ホンマかー）、関係あるのはヤーデージアドバイスとグリーン芝目の読みがしっかりしていたこと、実に的確だった。あるホールで山ちゃんが残り距離をレーザー距離計で120yと読んだが、キャディーさんは「100yです」「でも120yと出るけど」との声にも「器械よりも私を信じなさい!!」と自信を持って言い、山ちゃんが100y打ったらピン50cmのOK、ぴったしカンカン。またグリーンは八ヶ岳から強い巡目になってるとかでこれはなかなか読み切れない。八ヶ岳が森に隠れて見えないホールもありキャディーさんのアドバイスがないととても無理。1組目のキャディーさんも愛嬌ありこちらアドバイスが適切で良かったと。流石に三井財閥キャディー集めも資金潤沢、優秀な人材が集まるのかも。どっかの役立たずキャディーとは大違い。（どこの誰？京都ゴルフはキャディー無しなので、別のコースでーす）

「おはようバーディーには気をつける」と言うが確かに私の良かったのはそこだけ、あとは普段の調子のボギーボギーダボダボということになった。後半のあかまつコースもちっとも縮まらず。ラスも負け一方で50点の貯金もすぐに無くなって、結局マイナス100点の満貫、ヨコも全員に負け。だからAクラスじゃないと言ったのに。今の力はこんなもん。スコアはともかくみんなコースとキャディーさんに満足ラウンド終了、風呂はホテルへ行ってからと急がされて出発、それが遠い遠い。走っても走っても着かない。蓼科高原スキー場、白樺高原スキー場などを過ぎ、八ヶ岳火山群の北の端を超えて、小一時間掛かって、やっと到着。連休で混雑し、ラウンド後の疲れもあって長く感じたみたい。

「ホテルアンビエント蓼科」は女神湖のほとりに立つ標高1,550m、静かな高原リゾートホテル、到着時は宿泊客チェックインで大混雑。やっと各自部屋へ、最上階に女乃神の湯という眺めがいい温泉があるようだったが、食事まで時間もなく、部屋のユニットバスで大急ぎで汗を流す。夕食は食堂にて6時から、他テーブルにはお客さん無く我々8名だけで、静かでマナーの良い(?)我々としては一安心。白樺会席。まず食前酒自家製林檎酒で乾杯。一の膳から三の膳迄、信州サーモンの刺身、順菜酢の物。信州プレミアム牛しゃぶしゃぶ、五郎兵衛米・玉蜀黍御飯、小豆ムースその他。さすがに信州・蓼科高原、八ヶ岳山麓は全国有数の高原野菜の産地、地産地消の御馳走の数々を堪能。勿論生ビール、冷のお酒（私は銘柄がわからない）も浴びるほど。

そこでいよいよ成績発表、米ッチ前半ただ一人39、初めてのコースで大したもんだったが後半意識したか47も打って86、それでもシングルハンディー9.6と立派、府医ゴルフでの活躍が期待される、当日の順位は惜しくも4位。蘆ッシー前半調子悪く、私と同じく45も叩くも後半やや縮まって42、87、ハンディー10.8で3位。山ちゃん前半距離を見誤ったか、またグリーンにてこずったか43も打った、それでも後半はキャディーとの意気もぴったり、驚きの2アンダー34、凄い、屋根屋のふんどし、見上げたもんだ、77、スコアが良すぎてハンディーも3.8となり残念ながら2位。優勝は45、46、91も叩いてみんなに大負けの松岡、ハンディー18.0もついてネット73.0、皆さんすみません。そういえば昨年も、1日目は大叩きしたけど優勝だったことを思い出す。大叩きが良いのかな。そんなことはない筈なんだけどね。以下5位ひーさん、6位峯ちゃん、7位山際哲ちゃん、8位柴ッチという結果

だった。肉林なしの酒池ではあったが、そろそろ8時を過ぎて他のテーブルにも数組のグループが到着、我々の組の声大きい、ボリュームを下げてと勧告を受けたところでお開き。



写真2 ホテルの部屋の窓から早朝の女神湖 農業用水としての人工湖

翌朝道がすいていて30分かからず昨日のゴルフ場を過ぎ、それからまだ登る！登る！フォレストカントリークラブ三井の森、同系列の三井グループ、標高1,400mのなだらかな高原に位置する丘陵コース。八ヶ岳連峰と南アルプス360度のマウンテンビュー、口コミ総合評価4.6とこちらもいいコース。ただしどういう訳かこちらはノーキャディー。昨日のキャディーさんは太陽に近い分暑い(?)ですよと、「フーン」納得していいものかどうか。2日目はあみだ籤にて、1組目廣崎、山際、柴田、米田。2組目蘆田、峯松、山添、松岡となりアウトスタート。昨日程芝目は強くないとのことだったが、いやいや中々順目は怖くて打ち足り無いこと多し。これではいかんとパンチが入ると逆に打ち過ぎて大オーバー、ナイストライの言葉もしばしば、ナイストライはソリャお前打ち過ぎのてんかんパットやで、アホかお前はと言われたのと同じこと。



写真3 フォレストカントリークラブ三井の森 フラットなフェアウェイ

## 2. めいじん

2日目も天候に恵まれ、太陽により近くともその分暑いなどということもなく、冷涼、湿度低く、ラウンドにはいうことなし。昨日の雪辱に燃える蘆ッシー、ボギーの次はバウンスバックのバーディー、それも1～2mというものではない。6～7m大きく曲がるスライスライン1回、同じ距離のフックラインが1回、遠い遠い12mの下りややフックラインが1回、グリーン左横、裸のマハ（裸婦：ラフ）から12mくらいの下りスライスラインでのノンズロバーディーも。二度三度となると距離があっても、真っ直ぐでなく難しいラインでも、これも入るあれも入る岩井明愛（?）、見事に決める。まさにパットの名人。キャディーさんなしでアドバイスもないのにラインがよく読み切れるもんだ。まあ素晴らしかった。ホームコースの鳴尾ゴルフ倶楽部ではグリーンの高麗芝の張替えが上手くいかず、酷いので行く気がしないと京都ゴルフクラブ上賀茂コース・船山コースでの丹羽ッチとのラウンド多し。それが良かったのかどうか、見事なパッティングだった。今年こそ府医ゴルフでは山ちゃんと並んでポイントゲッターになってくれること間違いない。ニギリで勝ったもの、負けたもの、それぞれの楽しみ方（苦しみ方?）で、ラウンド終了。駅での宴会、帰りの列車までの時間がないとのことで大急ぎで風呂、私も幹事の山ちゃんに「先生速ーい」と驚かれ且つお褒めにあずかり、いつもイライラさせてすまないねー。

すぐさま、レンタカーにて塩尻駅へ、の筈だったが、大混雑・渋滞あり。このままでは18:03発のしなの22号には間に合わないと途中のレンタカー営業所で乗り捨て、列車で塩尻迄行くことに、乗車券を購入するのがまた大変、凄い人の列、どうにか購入出来て、塩尻着が17:25、大急ぎで駅構内の居酒屋「ほっとして ざわ 塩尻駅店」へ駆け込む。生



ビールは時間が掛かる、瓶ビールでカンパイ。大きな鶏のから揚げの盛り合わせ、さくら肉の刺身など貪り食って、すぐに表彰式。優勝は言うことなし、プロでもあんだけのパットは入らんでーというバーディー連続の39、37、76、ハンディーも昨日の山ちゃんと同じ3.6、ネット72.4の蘆ッシー。2位は山ちゃんアウトやや手抜き44、インさすがにそのままにはせず38、82、ハンディー8.4、2日続きのシングル、さすがに本物だ。3位昨日と同じようなゴルフ、2打はよくなったけど89の松岡、4位に米ッチを押しつけてひーさん。その米ッチ昨日の30台いずこ、90超えとなって5位、柴ッチ前日100叩き最下位、今日は汚名返上100切りの6位。哲ちゃん調子悪し7位。峯ちゃん、蘆ッシーのバーディーラッシュの反対に回り、味方になった時の松岡が頼りにならず、最下位に沈んでしまった、申し訳ない。列車の出発まで10分！土産も買わなきゃと唐揚げを頬張りながら駅へ駆け込む。去年の切符拾得、届出、自分の切符だったというような騒動なく、また弁当を棚に忘れて降りないようにと、列車が動き出して間もなく峯ちゃん、山菜釜めしを食べだす。名古屋駅での乗り換えに時間がないからと私は早めにドアへ、ホームへ降りるとなんか違和感が、「ハッ」と気が付く、コロコロスーツケース持ってない、荷物棚へ上げたまま。認知症？気付いたから大丈夫？名古屋止まりでよかった、慌てて車内へ取りに戻りなんきを得た。その後は特に何もなく京都へ帰着。今日は祇園祭、先の祭り巡行の日、避暑地から帰って来た身には暑い暑い暑い！！

### 3. せきにん

例によってゴルフと直接関係ない話で御免なさい。福島原発、汚染水タンクが一杯となり、溢れ出す。除去できないトリチウム以外の放射性物質を取り除いた後に海洋放水。朝日歌壇（以下歌壇）『『一定』とは何を指すらむ『一定の理解を得た』と流す処理水』岸田首相は今後30年間政府が処理には責任を持つと、数年先の首相は誰？何かが起こっても、その時点では多分責任を取らないであろう。歌壇「処理水の放出完了三十年忘却までに必要な時」また日本原子力学会・廃炉検討委員長、宮野 廣氏は処理水として放出されても第一原発の廃炉が早まらず、30年後の「51年廃炉はあり得ない」と断言。炉心に核燃料がない状態から廃炉作業が始まって30～40年。福島第一原発は今も炉心に燃料デブリが残っている状態だ。その燃料デブリの取り出しにもリスク、それで51年に完了というのはあり得ない話。岸田首相の言うこと、東電、経産省官僚の言うことは後に述べるが科学的根拠薄弱な妄想（?）。他の問題で何度も繰り返されてきた構図。今のところ放出先数か所の海水や魚貝類からはトリチウムは検出されていないと、ほんとに信じていいのか、関東大震災での朝鮮人虐殺があったという公的記録に基づいて自らが2011年衆院文部科学委員会で質問をしていたのに、2023年8月30日松野博一官房長官は記録がないと明らかな嘘をついた。これに限らず度々嘘をついてきた政権与党であるから、半信半疑だ。朝日川柳に「正直な大臣一人『汚染水』」「トリチウム未満未満と拡散す」「会議では言うかもアンダーコントロール」つい最近そんな大ウソをついた、幼少時からだという嘘つきがいましたなー。歌壇では「夏の日の疲労困憊の海この海に間もなく混じる『処理水』のこと」「トリチウ

ム全体量は変わらないどう薄めても薄めなくても」「核の脅威いや増す夏よ海原へ放てばもとへ戻されぬもの」

東京電力福島第一原発の処理水放出1週間前、アメリカニューヨーク州の知事はニューヨーク市から40キロほど離れたインディアンポイント原発のトリチウムを含む排水阻止法案に署名。ハドソン川沿いに50年前に建設の同原発は廃炉作業中、放射性物質を含む約500万リットルの水の放出を発表、周辺住民が反対、民主党議員提出の禁止法案が州議会で承認、知事が署名。廃炉作業を行う会社は、トリチウムは自然界に存在し、原発からの排出は一般的、濃度は連邦基準を遥かに下回り、健康や安全に問題なしと主張。知事は「ハドソン川はニューヨーク州を代表する自然の宝である」とストップをかけた。福島第一原発処理水の海洋放出も科学的根拠に元づくとのこと。科学を受け入れず、不振を抱くのは科学的知識の欠如が原因だとする考え方を「欠如モデル」という、科学的知識を増やせば、問題は解決するという考え方だが、欠如モデルが上手くいかないことは科学コミュニケーションの世界ではよく知られている、福島第一原発事故、公害病、変異型クロイツフェルト・ヤコブ病等であらわになった企業と国、研究者の場当たり性、無責任性等を思い浮かべれば、専門家や政府が持っている「正しい」知識を「無知な」市民が受容するというモデルがこれらの事例において全く不適切であることは明らかである。最近の例では「新型コロナワクチンを接種すると不妊になる」という社会的に深刻な問題を引き起こしかねないものがあつた。欠如モデルを振りかざしてことを行う権力者、企業などは一般大衆に対して傲慢に振る舞うようになる欠点がある。今回の件はまさに典型ではないか。使用済み核燃料の10万年埋没計画に至っては噴飯もので「トイレなきマンション」とまで言われている。つい先日対馬市長は「交付金では代えられぬ」と核ごみ最終処分場選定調査を拒否した。川柳「核のゴミ 候補に挙がらぬ なぜ東京」大需要地だ。我々一般国民は全く科学的知識のない馬鹿だと思われるのであろうか。むしろ首相、閣僚、経産省官僚、東電、関電を始めとする電事連の人間に「欠如モデル」を適用したいぐらい。ただ中国が日本産水産物の輸入を全面的に停止したのはいただけない。最近のぎくしゃくした日中関係がもたらす政治的な過剰反応。これも「欠如モデル？」歌壇「輸入せぬ魚を中国漁船団日本近海に来ては獲りけり」

#### 4. せんぜん

今一つの話題。歌壇、「防衛を言い訳にして持つ武力少年が持つナイフみたいに」「沖縄に基地を増やしてミサイルを置いて迎える今日慰霊の日」「八月の6 + 9 = 15なる数の不思議に不戦を誓う」朝日俳壇「戦火なき空を信じて蝉生る」「八月や日本に大き穴二つ」「八月の地球に二つ爆心地」「本当は日本の忌日沖縄忌」昨年末「徹子の部屋」で今年は「新しい戦前」とタモリが話していた。「戦争が廊下の奥に立ってゐた」渡辺白泉1939年。戦後ただ一度だけ裁判所が自衛隊を「違憲」とした「長沼一審判決」から50年を迎える。当時の札幌地裁平賀健太所長は「農林大臣の資料を尊重すべきだ」と訴訟に介入する書簡を送ったが、裁判長福島茂雄氏は「自衛隊は戦力だから違憲」という当然の事実にも勇気ある

判決を下した。高裁では自衛隊の違憲性について、砂川事件の最高裁と同様に「高度に政治性のある国家行為は極めて明白に違憲無効であると認められない限り、司法審査の範囲外にある」とする統治行為論を併記した。最高裁では違憲審査は回避した。

## 5. さんけん

今からほぼ70年前われわれが小・中学校で習ったのは国民主権、三権分立、戦力放棄、世界に誇る平和憲法だった。行政府の長が立法府の長だともじめに思い違いをしていたのはつい最近のことであり、三権をすべて握っているかのように思っていたのかもしれない。司法は違憲立法審査権を持ち、行政権を持つ内閣に物申す機能を有するが、今のところ有名無実であり、時の政権にこびへつらう姿勢しか見受けられない。沖縄米軍兵士・軍属の犯罪、基地問題などは勿論、政府の言うがまま。安倍晋三首相加計学園不正、昭恵夫人がらみの森友学園問題では当時の佐川宣寿財務局長（「カラスは白い」と言える霞が関模範官僚）の指示により、意思に沿わぬ改竄命令を受け赤木俊夫さんが追い詰められついには不幸なことに。当事者である佐川氏への尋問も認めなかった。詳しい説明を行わず「認諾」という卑怯な逃げの手を取ったのは許せない。情けない裁判所である。赤木雅子さんが求める森友関連文書開示をも認めない。関連文書の存在について答えず、経緯を明らかにするのは厳として応じない。雅子さんは「あまりにひどい判決」「国と裁判官はグルなのでしょうか」とのコメントを出している。代理人の弁護士は「司法は何のためにあるのか」と批判している。村度の結果であり、村度の対象は気の毒ではあるが、存命ではない。今更逮捕はできないのである。やや方向は異なるが犯罪（と私には思えるが）に該当する行為を行ったことでは代わりなく、生存していないということで遅過ぎるとは言えるがジャーニー喜多川のように功罪をはっきりさせることが必要であろう。

今では自衛隊が軍隊でないなどというたわごとは誰も信じていないが、憲法を厳密に解釈する真の憲法学者によれば陸、海、空の3軍を有する自衛隊は明らかに違憲の存在である。あの安倍晋三首相でさえも戦争放棄の憲法条文を正面からの改定はできないとして、自衛隊に関する憲法解釈の変更という搦手を用いて合憲もどきにしようとした。いろいろな閣議決定による政策の変更はその後の内閣に引き継がれ今に至っている。

国権の最高機関である立法府（国会）の開会という正当な求めを行政府（内閣）が3か月も棚晒しにしたことに対する訴訟でも最高裁は上告を棄却。例によって安倍内閣の違憲性は判断しなかった。すべて違憲立法審査権という立派な権能を放棄。最高裁判所判事について国民審査があるとはいえ有名無実で立法・行政・司法の三権の中で最も非民主的機関だと言われているのも宜なるかなである。職務放棄であるとまでする意見もあるぐらい。裁判官のその後の出世コースから外れるという自己保身という理由であろう。霞が関の官僚が履歴に傷をつけないということを第一義にするのと全く基を同じにする。

## 6. ふさんか

7月28日付けにて、3年振りの府医ゴルフの開催案内が来た。懇親を深めることを主な

目的として団体戦は休止し、個人戦のみとするとのこと大いに不満ではある。丹羽ッチは個人戦だけになっても出場すると、一方山ちゃんは団体戦休止の理由も納得できるものではないので不参加とする、場合によってはチームとしてボイコットしてはという。それは極端、なかなか穏やかではない。残念ながら廣崎彰良団長は膝の調子もあり不参加、キャプテン山添善博は前述の理由で不参加、森 治彦も不参加、あと競技委員常連の柴ッチ、米ッチなど例年参加のメンバーも不参加。結局参加申し込みは、蘆田 潔、丹羽 勇、松岡秀樹の3名のみ。開催4日前の9月19日午前便でやっと組み合わせが来た。やはり他地区でもそんなことでは参加しないというもの多く、たったの8組で総勢32名とは誠に寂しい限り。9月23日当日に団体戦中止の理由を競技委員各氏から聞いたところによると府医ゴルフの参加者が年々減少傾向にある、これは団体対抗戦ありの形式が競技指向のゴルファーばかりになり易く、和やかにゴルフを楽しみたい会員の参加を妨げているのではないかと考え、団体戦なしの開催にしたということであった。見事に失敗に終わったわけである。団体戦をすると6名、最低でも4名を集める必要があり、従来各地区からも参加が多かったであろう。団体優勝を狙わなくともゴルフを通じての親善を目指している会員はそれはそれとして参加していたものと思われる。少なくとも左京区では廣崎団長以下メンバーはそのようにして、団体戦入賞を狙うもの以外のゴルフ愛好会員にも声かけをして、参加者を募りBチームまで作り参加してきた。府医師会の懇親ゴルフ関係者もそのような方向への努力をするべきであろう。

## 7. ほんばん

9月23日当日は以前悩んだこともあった雨も降らず、熱中症を心配するような35度にもならず、薄曇りで涼しい風の吹く絶好のゴルフ日和。しかしピン位置が思いのほか難しく、丹羽ッチも84、蘆ッシーも85となり、バスグロとはならず全国医師ゴルフ大会代表にはなれなかった。私も目標の70台には遥かに遠く89の大荒れのスコアとなった。いつもの団体戦がなく盛り上がり欠けて大会報告としても例年のように他地区選手の成績を記しても無意味なのでこれ以上のことはなく筆が進まない。

## 8. らいねん

府医師会および競技委員会としては大いに反省し来年は団体戦を行うと述べていたので、来年には左京医師会としても若手の精鋭を代表に選出し、再びの覇権確立を目指さねばならない。各地ゴルフクラブに金看板20枚を誇るキャプテン山添善博も機嫌を直してポイントゲッターとなってくれるであろうし、鳴尾ゴルフ倶楽部競技委員でシニアチャンピオン蘆田 潔、京都ゴルフ倶楽部グランドシニアチャンピオン丹羽 勇の3人揃って余裕の70台で回り左京の優勝に貢献し、その内の2人が全国医師ゴルフ大会京都府代表を独占する事態も十分考えられる。左京にはまだまだ多士済々、廣崎彰良もがちがちテーピングの成果ナイスドロウのティーショット、近江カントリー所属怪力ドラコン木戸 晉、琵琶湖カントリー倶楽部グランドシニア選手権常連森 治彦、比良ゴルフ倶楽部チャンピオン

児玉博行、近江カントリー倶楽部シニア、グランドシニアチャンピオン田村 滋、すっかりスマートになったが相変わらずのド迫力飛ばし屋の児嶋久剛、京都大学アメリカンフットボールクラブチームドクターの傍ら比良ゴルフ倶楽部でせっせと鍛錬する山際哲夫、毎週火曜日上賀茂コースにて奥様とラウンド仲睦まじく練習に励む峯松壮平、琵琶湖カントリー倶楽部でシングルハンディー維持飛ばし屋の坂口佳司、名門田辺カントリー倶楽部にてクラブチャンピオンを狙う赤木太郎、遠征でも飛距離は勿論アプローチでも非凡なところをしばしば見せる登り龍米田武史、左京医師会会長となり多忙なるも間もなく復帰の塩見聡史、華麗なフォームでニアピン獲得しばしば一層の飛躍が待たれる柴田修宏、こそと京都ゴルフに現れる飛ばし屋立石健人、父君順ちゃんの代わり若々しいゴルフの吉川拓宏、上賀茂コースでスルーラウンドトレーニング怠りなく左京チーム入りに備える大久保秀夫、奥様とのラウンドばかりでなくそろそろ左京チームにも入ってほしい上野光歩、もう大学修業はええんとちゃう私から巻き上げてばかりの美星さんと一緒に京都ゴルフでラウンドして左京チームにも早く入ってくれ川村 Jr などなどいくらでも隠し玉というか隠れ玉は豊富。左京の未来は極めて明るい。阪神タイガースは18年振りにアレを成し遂げた。左京チームも

## 来年こそ若手中心に府医ゴルフアレを達成？

パインアメを舐めつつ記す

(文中敬称略)

タイトルのつけ方は畑山健二著「おけら長屋」(PHP 文芸文庫)に倣った

# 緑壽会の出席

新洞錦林班 吉川順介

「敬老の日」の前に恒例の左京医師会主催の「緑壽会」が3～4年振りに9月9日「救急の日」に「竹茂楼」で開催された。今回、小生は初めての参加でした。医報の掲載を依頼されたので、簡単にご報告します。

現在「緑壽会」の会員数は、62名です（そんなにいるのか、驚きました）。その内当日は11名の参加でした（緑壽会出席者参照）。懐かしい顔が見られ開催前から盛り上がりました。定刻になり、佐藤尚志先生の司会、まず塩見会長の挨拶、集合写真撮影（わいわいがやがや、中々ポーズが決まりません）。やっとその後、藤田宗先生の乾杯で宴が始まりました。当日のお献立は次頁のごとくでした。食事、酒が進むにつれ宴たけなわとなり、各人の近況報告が行われました。皆さん非常に元気で、まだまだ現役で働かれているのには驚きました。又一方仕事は少し、趣味に楽しく過ごされている先生もおられ、うらやましい限りでした。出席者の中で一番若輩の小生としては益々頑張らなきゃと思いました。

そもそも「緑壽会」なるもの、記憶としては佐藤文彦先生が医師会理事の時命名され敬老の先生方のお祝いを企画され発足、「下鴨茶寮」で、昼に開催されたのが始めと記憶しています。年代は覚えてませんが？事情により「敬老のお祝い品」の送付の時もありました。只以降ずうと引き続かれているのは素晴らしいことだと思います。歓談の中で当日あいにく参加されなかった会員の情報交換も互いに行われ、興味津々でした。楽しい時は時間を忘れがちですが、あっという間の楽しいひと時でした。次回の開催を期待し参加ができませんようにと願い終了となりました。開催お世話されました関係理事の先生方に感謝します。ありがとうございました。

緑壽会出席者 11名

新洞・錦林班	吉川順介	修学院第一班	角谷圭子
北白川1班	佐藤文彦	修学院第一班	八田一郎
養正1班	上原春男	修学院第二班	藤田宗
葵1班	廣崎彰良	上高野班	横山幸男
葵1班	山下文治	別班	垣内孟
葵2班	橋本良子		(緑壽会 会員数62名)



長月 御献立  
 先付 季節の彩り  
 椀替 土瓶蒸し  
 松茸 鱧  
 向付 かんぱち  
 まぐろ  
 針物 大根 秋茄子  
 焼物 子持ち鮎塩焼き  
 進肴 淡路産  
 もち豚  
 御飯 こしひかり  
 名物 鰻かば焼  
 香物 五種  
 水物 梨 キウイ  
 甘味 栗蒸し 羊羹  
 今和五年九月九日  
 美濃吉本店 竹茂楼  
 ※当日の仕入状況等により  
 内容変更になる場合がございます。  
 あらかじめご了承下さいませ。

## 追悼 故郷原望美先生 ご略歴



生年月日 昭和2年10月2日

ご出身地 京都府京都市

最終学歴 昭和24年3月 京都府立医科大学附属女子専門部 卒業

### 略 歴

昭和25年4月～昭和30年2月 京都府立医科大学小児科教室 研修員

昭和26年5月～昭和26年10月 (出張) 奈良標準保健所 小児科担当医

昭和30年2月～令和2年12月 郷原医院 開業

昭和27年4月～平成11年3月 鴨東幼稚園 園医

一時期 同志社高等学校 保健体育講師

聖母女学院中学校・高等学校 保健体育・理科講師

子どものその保育園 園医

令和5年 ご逝去

(ご遺族のご意向で追悼文の掲載はありません)



## 左京医師会 講演会等の予定

(令和5年11月)

開催日と場所は変更になる場合があります。  
開催時間など詳細が決まりましたら医報などにて告知致します。

### ◆左京学術講演会

と き 11月18日(土) 16時00分

ところ 国立京都国際会館

「慢性痛治療アップデート」

京都府立医科大学大学院医学研究科 疼痛・緩和医療学教室

教授 天谷文昌先生



## 「疎水の水音でフィナーレを迎えた幕末維新の京都交響曲」

### 第七話 「明石博高、レーマン兄弟、ワグネル、

### 島津源蔵が紡いだ京都の事業創生」(その2)

北白川2班 山下敬司

#### 【文部省所管の京都司薬場が京都舎密局に居候しオランダの薬学士・ヘールツ来る】

京都舎密局には医薬品の検品装置が充実していたため、文部省所管の京都司薬場が明治8年(1875年)1月に京都舎密局内に設置され、文部省が雇い入れたオランダの薬学者のアントン・ヘールツ(ドイツ語読みではアントン・ゲールツ)が京都へやってきました。

司薬場は、当時は輸入がほとんどだった医薬品の検品をする役所で、本来は横浜などの輸入港で行うべき業務であり、京都舎密局の先進性がわかるエピソードです。

ヘールツに京都舎密局の設備を無償で使ってもらい代わりに、ヘールツに京都舎密局や医学校や療病院で薬学などの講義をしてもらえることになり、京都舎密局の教授陣は大幅に充実しました。

そして明治9年(1876年)9月に京都司薬場が閉鎖されるまでの約1年半の間、ヘールツは京都舎密局で指導しています。ヘールツが京都舎密局へやってくるまでは、カール・レーマンの弟のルドルフ・レーマンが主な外国人技術者だったと筆者は考えています。

その後ヘールツは明治19年(1886年)に初版が発行された日本薬局方の編集に貢献しますが、その完成の3年前に腸チフスで病死しています。

#### 【ゴットフリード・ワグネルにより舎密局は大きく発展】

文部省が雇い入れたオランダの薬学者のヘールツが明治9年(1876年)9月に京都司薬場を去ることになり、京都舎密局では新たな欧米人の指導者を探す必要に迫られ、白羽の矢が立ったのがドイツ人のゴットフリード・ワグネルです。

ワグネルは天保元年(1831年)にドイツのハノーバーに生まれ、ゲッティンゲン大学を卒業後、フランス、スイス留学を経て、明治元年(1868年)に長崎に設立されたアメリカのラッセル商会の石鹸製造所を手伝うために来日しますが、軌道に乗らず失敗します。

その後ワグネルは、明治3年(1870年)には佐賀藩の委嘱をうけて有田で陶器を着色する釉薬調合の技術指導をしています。また同年に大学南校(現在の東京大学の前身)予

科教師となりました。明治5年（1872年）に東校の物理学と化学の教師、明治8年（1875年）に東京開成学校の理化学教師、さらに文部省の製作学校教師を兼任しています。

そして明治11年（1878年）3月（ヘルツが去ってから1年半後）に、ワグネルは京都府舎密局へ招聘されます。カール・レーマンがワグネルを招くのに功があったとする記事もあるようですが、レーマンは明治6年（1873年）にドイツ・オルデンブルクに戻り翌年に42歳で死去しており、ワグネルを斡旋することは不可能です。なお、カール・レーマンの弟のルドルフ・レーマンはこの時にはドイツ語教師として京都府で活躍しており、ルドルフがワグネルへ働きかけた可能性はあり、姓が同じレーマンなので勘違いされたのではないのでしょうか。

京都舎密局に招聘された化学者のゴットフリート・ワグネルは、工芸の指導や理化学の講義を行うと共に講義に必要な理化学機器を自作し、彼の指導を受けた島津源蔵は後に理化学機器を製造販売する島津製作所を創業しています。さらにワグネルは、レモネード、ラムネ、ワイン、ビールや石鹼などの生産を指導し、伝統産業の七宝焼などの陶磁器や織物、染色・顔料の改良や製造も行っています。

島津製作所を初代・島津源蔵が創業するにあたり、ワグネルと京都舎美局が果たした役割は実に大きなものがありました。島津製作所の田中紘一氏がノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しいですが、島津製作所にはワグネルと島津源蔵のDNAが受け継がれており、それが結実したのではないのでしょうか。そのワグネルを顕彰する碑が、平安神宮近くの公園に鎮座しています（図43）。

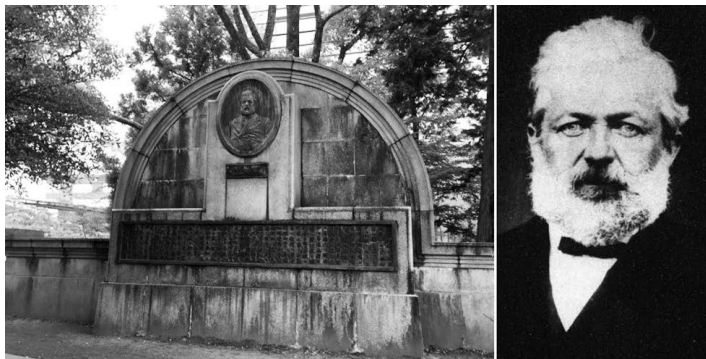


図43：国立京都近代美術館の北側に隣接する児童公園にあるゴットフリート・ワグネルの顕彰碑とワグネルの肖像（顕彰碑は筆者撮影、肖像はドクトル・ゴットフリート・ワグネル伝、植田豊橋 編、博覧会出版協会から大正14年〔1925年〕刊行、国立国会図書館デジタルアーカイブから）。顕彰碑が立派なわりに児童公園の一角という目立た

ない場所にあり、つい見逃してしまう。なお顕彰碑が立派なのは、ワグネルのその当時の京都への貢献の大きさを反映していると思われ、建立された当時をもって目立つ場所だったのかもしれない。島津製作所の創業者の島津源蔵もワグネルの恩恵を受けた一人であり、そのことが島津製作所の創業に繋がっている。

京都舎密局は、その発展と共に次第に手狭になり、江戸時代後期に絶家となっていた京極宮の別邸跡（令和5年3月までは京都市立銅駝美術工芸高校）と門倉馬場屋敷跡（現在はザ・ホテル・リッツカールトン）へ移転し拡張することとなりました。また付近には、

府営織物工場や勸業場や栽培試験場などが建設され、この一帯は当代随一の先端地区となりました（図44）。

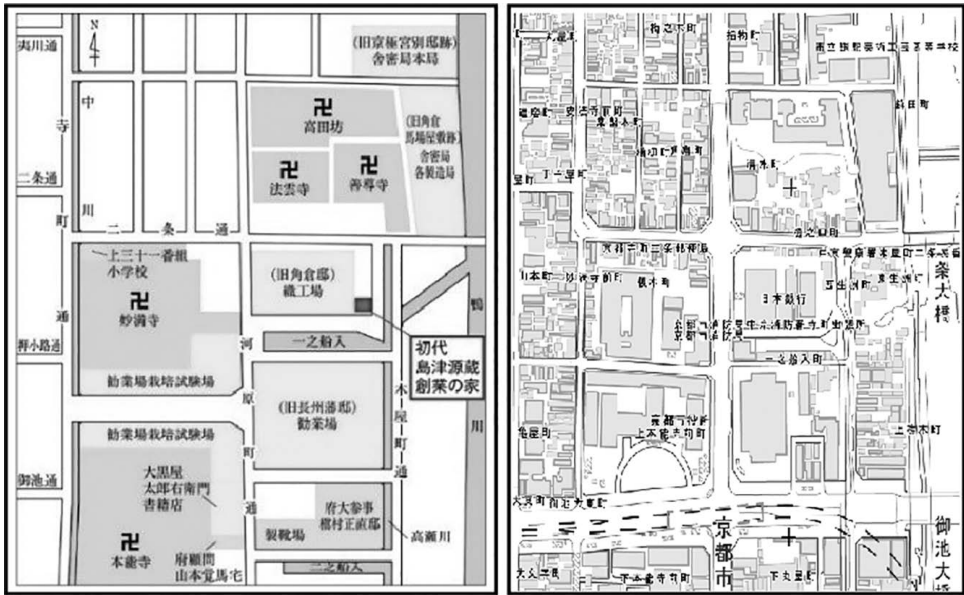


図44：明治7年（1875年）の木屋町二条から河原町御池界隈の建物配置図（左側、島津製作所提供）と同じ場所の令和5年（2023年）の現況地図（右側、国土地理院地図から）。明治初期に、この一帯に舎密局をはじめとする京都府の殖産施設が密集していたことがお分かり頂けるだろう。そして京都舎密局と榎村正直邸と山本覚馬邸と島津製作所を創業した初代・島津源蔵の創業の家が極めて近接していたことがよくわかる。伝統とハイテクの両方がコラボする京都市の源流は、まさにここにあったのだ。なお、初代・島津源三の創業の家は現在はなく、そのすぐ北側に建てられた島津製作所・木屋町本店を改装して開設された島津創業記念資料館が往時の姿をとどめている。

**【明治14年に雇止めとなり京都を去ったワグネルの継承者は島津源蔵だった！】**

ワグネルは、第三代京都府知事の北垣国道により明治14年（1881年）に京都舎密局が廃止されると雇止めとなり、東京へ移って東京大学理学部の製造化学教師となり、明治18年（1884年）に東京職工学校（現在の東京工業大学）の製造化学教師となり、その2年後には同校の陶器玻璃工科主任となり、東京工業大学内にも顕彰碑が建立されているそうです。このようにワグネルは近代日本における化学分野、とりわけ窯業の発展に大きな貢献をしました。

京都舎密局は博高へ払い下げられて以降は資金難から凋落していきましたが、島津製作所を創業した島津源蔵がそのDNAを継承し発展させていきました。

次の項目では、仏具職人だった島津源蔵が畑違いの京都舎密局の聴講生となり、博高や

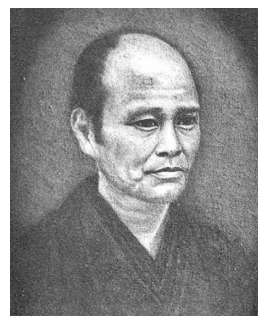
ワグネルから知識や技術を受け継ぎ、京都の先端企業・島津製作所を創業するに至ったいきさつを追いかけてみます。

## 【島津製作所を創業した初代・島津源蔵の仏具職人からの華麗なる転身！】

島津製作所の創業者の島津源蔵の家は、高瀬川の一の船入（木屋町二条下ル）の近くにあり、京都舎密局とは目と鼻の先にありました（図44）。源蔵は仏具制作販売業を営んでいましたが、明治維新後の神仏分離と廃仏毀釈で仏教寺院に逆風が吹き、仏具も売れなくなり、源蔵の家業も経営が苦しくなります。

そんな源蔵の自宅の目と鼻の先に突如オープンしたのが勸業場と京都舎密局でした。京都舎密局には時代の最先端を行く人々が集い、源蔵の目はそこに釘付けとなります。そして、ついに源蔵は仏具制作販売業に見切りをつけ、舎密局で新しい西洋の科学知識や技術を身につけようと決意します（図45）。

図45：初代・島津源蔵の肖像（株式会社島津製作所編『株式会社島津製作所改組二十年記念帖』島津製作所、昭和12年[1937年]、国立国会図書館デジタルコレクションから）



しかし、一介の仏具師の源蔵が、洋学を学び新しい西洋の技術の習得を志す新進気鋭の人たちが勉学に励む舎密局へいきなり行っても相手にされる訳がありません。そんな源蔵に手を差し伸べたのは、舎密局の伝習生で、幕末期に欧州で開発され発展途上にあつた人工染料による染色技術習得のためドイツに公費留学することになる三田忠兵衛でした。三田の紹介で源蔵は明石博高の面識を得て舎密局へ通うようになり、源蔵は博高や三田に化学に関することをいろいろ教わりました。

二代目・島津源蔵が「先代は明石先生の弟子であつたので、先代の弟子の私は孫弟子にあたります。小さいころに先代から頼まれて、明石先生のところへの使い走りをよくしていました」と「明治文化と明石博高翁（田中緑紅著、明石博高翁顕彰会から昭和17年[1942年]刊行）」の序文へ寄稿していることから、源蔵が明石から親しく指導を受けていたことは間違いないでしょう。

その後、源蔵は舎密局で研鑽と実績を積み、明治11年（1878年）に京都舎密局へ招聘されたワグネルの指導を受けます。舎密局での理科の教育や実験に実験用器具は必須でしたが、国内ではそれを製造することはまだ困難であり、それらの多くは高価な舶来品でした。源蔵はワグネルの指導を受ける中で、仏具製造で培われた技術を生かして実験用器具を作ろうと考え、遂に国産化に成功します。その製品はやがて評価を獲得して事業として成功を収め、島津製作所の創業に繋がりました。

源蔵が仏具製造に見切りをつけ、京都舎密局の実習生となつたのは、当時の日本の仏教寺院に吹き荒れた神仏分離と廃仏毀釈という大きな逆風が背景にありました。次の項目で

は、明治維新後の仏教界が如何に苦難の道を歩まざるを得なかったかを見ていきます。

### 【明治政府は神仏分離令で千年来の神仏習合を否定し、神道を国教化しようとした】

鳥羽伏見の戦いに勝利した明治新政府は、幕藩体制を打倒して打ち立てた新しい体制である王政復古（天皇親政）の存立基盤を強化するために、平安時代から江戸時代まで千年以上にわたり行われてきた神仏習合という日本人の宗教的常識を否定し、神道を国民の精神的拠り所とすることを企てます。

明治元年（1868年）に神仏分離令（一つの法令ではなく複数の法令から成り立っていた）が出され、明治政府はこれにより明確に仏教から分離された神道を国教とすることを目指しました。なお、江戸時代にキリスト教を排除する目的で寺請制度が作られ、民衆は宗門人別改帳を通じて幕府に管理されてきたことから、この制度を否定することも目的であったと言われています。

### 【祇園感神院は社域内の感神院を廃寺させられ、八坂神社へ名前を変えさせられた】

八坂神社は元は祇園感神院（別称は祇園社）という神仏習合の宗教施設で、境内には感神院というお寺がありましたが、祇園は仏教用語だという理由で八坂神社に名前を変えさせられ、感神院は廃寺に追い込まれています。さらに八坂神社は境内地が大きく削減されています（現在の円山公園はかつては祇園感神院、安養寺、長楽寺、双林寺の4カ寺の境内地であった）。

そして祇園祭と山鉦巡行を経済的に支えていた寄町制度が明治5年（1872年）に廃止され、財政面において山鉦の維持と存続が危ぶまれるようになりました。このため、明治8年（1875年）に山鉦巡行や神輿渡御の経費を援助する協賛組織として清々講社が結成され、地域の住民から集めたお金や市民の寄付金で運営が続けられるようになりました。

槇村は京都の仏教排斥の急先鋒だったそうですが、それにしても、なぜ以上のような強硬措置ができたのでしょうか。それが不思議だったので調べてみたところ、維新後に神仏分離令と上知令が相次いで布告され、その後に廃仏毀釈の旋風が全国で吹き荒れたことがわかりました。

### 【寺社（特に仏教寺院）の土地を召し上げる目的で上知令が発布された】

明治4年（1871年）に寺社領地を没収する上知令が発布されます。明治2年（1869年）に各藩が版籍奉還により土地と人民を朝廷（新政府）へ返還したのに対し、寺社だけが広大な領地（私有地）を保有しているのは不相当であるとして、明治新政府は寺社の境内以外の土地を返還するように命じました。明治8年（1875年）には境内地も祭典や法会に必要な範囲に限定し、それ以外はすべて返還を命じ、大半の寺社領は没収されます。

上知令のターゲットは寺社のなかでも多くの寺院領や境内地を所有していた仏教寺院で、寺領の多かった天台宗、真言宗、臨済宗、浄土宗は特に大きな痛手を受けました。寺院の土地がここまで広大となっていたのは、かつては朝廷や貴族が、その後は幕府や諸侯が寄進をしてきたからです。朝廷と繋がり深い門跡寺院では皇族の門主が還俗させられ、朝廷との縁は強制的に断ち切られました。

### 【寺町の寺院から土地を召し上げ新京極通ができ、南禅寺も岡崎を召し上げられた】

明治維新後に街を活性化させるために新京極通りを目抜き通りとして作ることとなり、そのために寺町にあった寺院の土地は上知令で召し上げられ、大きく削られることになりました。また、寺町以外の寺院でも寺領は減らされ、中でも南禅寺は江戸幕府ゆかりの寺院と目されていたため、岡崎一帯の寺領は大きく削減されました。

### 【江戸時代にもあった上知令は失敗に終わり、老中・水野忠邦を失脚させた】

明治政府の上知令とは別に、江戸時代の天保の改革で天保14年（1843年）に発布された上知令があり、こちらの方が一般的にはよく知られています。老中の水野忠邦は、天保の改革の仕上げとして上知令を発布し、大坂の最寄地を幕領として収公することを命じ、更に江戸の最寄地の収公を命じました。

その範囲は江戸、大坂10里四方であったと言われており、領地を召し上げられる諸大名・旗本には、上知高に応じて替え地を与えられることになっていました。しかし、大坂最寄地では百姓や町人らが領主に融通した貸銀、年貢先納銀などが棒引きにされるのを恐れて、各所で反対運動が巻き起こりました。

さらに老中の土井利位が上知令反対派に回り、和歌山藩や大奥も反対に回ります（遠方の替地が宛がわれても江戸と大坂の最寄り地を収公されることは不利益となった）。このため、上知令は撤回に追い込まれ、忠邦は責任を問われて老中を罷免され失脚します。

水野忠邦の狙った上知令は、江戸、大坂中心部を幕府直轄領として防御を強化し、重要な海上交通も幕府の掌握下に収めようとする中央集権的な政策でしたが、身内からも反対され忠邦が失脚してしまいます。かくして、ペリー来航前に封建制から中央集権制へと転換を図るチャンスは失われ、この実現は明治維新まで待たねばならなくなりました。

### 【廃仏毀釈により全国各地で多くの貴重な仏教文化財が棄損した！】

明治維新の際に寺社に出された神仏分離令と上知令は、寺社仏閣、なかでも仏教寺院に打撃をもたらしましたが、それ以上の大打撃を仏教寺院にもたらしたのが廃仏毀釈です。廃仏毀釈とは、神仏分離令の実施をきっかけとしておこった寺院や仏像・仏具などの破壊運動のことです。上知令による寺領や境内地の没収に加えて、全国的に吹き荒れた廃仏毀

釈による寺院に対する破壊行為により仏教勢力は大打撃を受け、廃寺に追い込まれた寺院が続出しました。

神仏分離令の主眼は、神と仏を分離して神道を国民的宗教として確立し（国家神道）、それを精神的拠り所として天皇を中心とする統一国家を建設することであり、寺院や仏像や仏具を破壊することではありませんでした。しかし、それに誘発された廃仏毀釈により寺院や仏像や経典などの仏教文化財が破壊されて滅失していきました。

滋賀では比叡山の東麓の日吉大社で多くの経典や仏像などの仏教文化財が破壊されています。奈良の興福寺も大きな痛手を受け、寺の建物が破壊され、大半の境内地が没収され、現在は国宝となっている興福寺の五重塔が薪材として25円で売却されかけたりしています。さらに興福寺は広大な土地を没収され、そこに明治13年（1880年）に奈良公園がつくられました。

平安京へ遷都された千二百年前よりさらに昔の奈良時代から日本の宗教界をリードしてきた寺院への厳しい仕打ちや八百年もの長きにわたり支配階級だった武士からの特権剥奪を鑑みると、明治維新はまさに革命と言うべき大きな時代変革でした。

### 【榎村知事時代の廃仏毀釈により道端の石仏が激減し、五山の送り火が中断した】

由緒ある多くの寺院が軒を連ねる京都市でも、榎村知事時代に廃仏毀釈の嵐にさらされています。明治4年（1871年）から明治6年（1873年）にかけて、京都府が京都の民衆へ道端の地蔵や石仏を撤去するように命じたり、地蔵盆や送り火などの仏教行事を無駄な迷信と断じて中止するように命じています。さらに榎村は公開の場での剣術の稽古を政府に対する不穏な活動として取り締まっています。

今では地域の風物詩であり観光行事としても欠かせない五山の送り火も中止に追い込まれ、送り火は明治6年（1873年）から明治15年（1882年）までは点灯されず、復活したのは北垣国道知事を迎えた翌々年の明治16年（1883年）年になってからでした。復活に国道が着任してから2年を要したのは、10年間のブランクのため、それにかかわってきた人々や地域のシステムが散逸し、体制が整わなかったのではと筆者は推察しています。

また四条大橋を鉄製の橋として建て替えるにあたり、寺院は金属製の仏像を供出するように命じられ、仏像は溶かされて四条大橋の金属材料となったそうです。さらに神仏分離が徹底され、神社と共存して神域内にあったお寺は、その多くが廃寺に追い込まれました。

このようなお寺への逆風は、北垣国道が第三代京都府知事として赴任するまで続きました。国道は榎村時代の政策の大半を180度転換しますが、仏教寺院に対する弾圧の廃止と剣術の奨励もその一環でした。

国道は、知事に就任すると剣術奨励のために樫木町に剣道場を設立しています。さらに明治28年（1895年）に京都に大日本武徳会が設立されると、国道はその役員を務めています。その時に建設された旧武徳殿が、平安神宮の西側にある京都市武道センターの一角に現状保存されています。なお大日本武徳会は戦後にGHQにより解散させられ、その精神



は全日本剣道連盟、全日本柔道連盟、全日本弓道連盟、日本相撲連盟が加盟する日本志道会に引き継がれています。

### 【フェノロサと岡倉天心が貴重な日本の仏教文化財を全滅の淵から救う】

現在の都市公園は、上知令により明治期に寺院から没収された土地が大元になっていることが多く、上知令の功績と言えます(没収された寺院側にとってはほとんど災難であった)。しかし、廃仏毀釈による全国各地の貴重な仏教文化財の毀損は国家的な大きな損失でした。廃仏毀釈が収まらずに明治後期まで続いていたら、今日の日本にとって重要かつ貴重な仏教文化財は大半が滅失していたかもしれません(多くの城郭も取り壊され江戸時代からの天守閣は数えるほどしか現存していないのも明治維新の残念なことのひとつである)。

廃仏毀釈が全国で吹き荒れたにもかかわらず、今でも多くの仏教文化財が破壊を免れて残っているのは、全国の寺社仏閣の文化財を調査して回ったフェノロサと、その弟子でフェノロサの通訳兼助手を務め一緒に全国を回った岡倉天心の努力で仏教文化財の価値が再認識されるようになったからです。彼らの努力が実を結び、仏教美術の価値が見直されたことから全国的に保存運動が高まり、ようやく廃仏毀釈が収束しました(図46)。



図46：アーネスト・フェノロサの肖像(左側、三井寺=園城寺・法明院所蔵)と岡倉天心の肖像(右側、岡倉天心全集、人之巻、岡倉一雄編、聖文閣、昭和11年[1936年]刊行、国会図書館デジタルアーカイブから)。三井寺・法明院の庭園を通り抜けた奥の山麓にフェノロサの墓がある。彼は法明院からの眺めをこよなく愛し、「琵琶湖の見えるこの地で死にたい」という生前の遺言を残したため、ロンドンで死去したが法明院に墓が立てられた。法

明院にはフェノロサが生前愛用した天体望遠鏡・地球儀・テーブルなどが保存されている。フェノロサは、動物学者モースの紹介で明治11年(1878年)に米国から来日し、東京大学で哲学、政治学、理財学(経済学)を講じた。フェノロサの講義を受けた者には岡倉天心、坪内逍遙らがいる。フェノロサの専門は政治学や哲学であったが、ボストン美術館付属の美術学校で油絵とデッサンを学んだことがあり、美術への関心を持っていた。来日後は仏教美術に深い関心を寄せ、助手の岡倉天心とともに全国のお寺を回り、廃仏毀釈による破壊の惨状を目の当たりにして仏教文化財の文化的価値と保護を訴えたことが奏功し、多くの貴重な仏教文化財が破壊を免れた。岡倉天心は明治10年(1877年)に開学された東京大学へ進み、フェノロサに師事してその日本美術研究に協力した。卒業後は文部省へ出仕し明治19年(1886年)に文部省美術取調委員として欧米を視察し、その翌年に帰国して東京美術学校(後の東京芸術大学)幹事を経て明治23年(1890年)に校長に就任し、明治31年(1898年)に辞職して横山大観らと日本美術院を創設した。

## 【山本覚馬邸で開かれた私塾で学んだ若き俊英が、その後の京都の発展に寄与した】

明治維新により、今では京都市にはなくてはならない五山の送り火が中止に追い込まれたり、祇園祭の山鉦巡行が存続の危機へ追い込まれていたその一方で、京都の再生へ向けての人材育成が山本覚馬邸で始まりました。

覚馬は明治3年（1870年）に、京都府大参事・河田佐久馬の推薦により京都府庁に出仕し、権大参事として府政の実権を握っていた榎村正直（後に第二代京都府知事）の顧問として府政を指導するようになりました。覚馬はこの時に、私邸で私塾を開き、欧米諸国の政治・経済・社会制度や今後の日本や京都のあるべき姿を教えています。覚馬の私邸は現在の河原町御池西南角にありました（図47）。

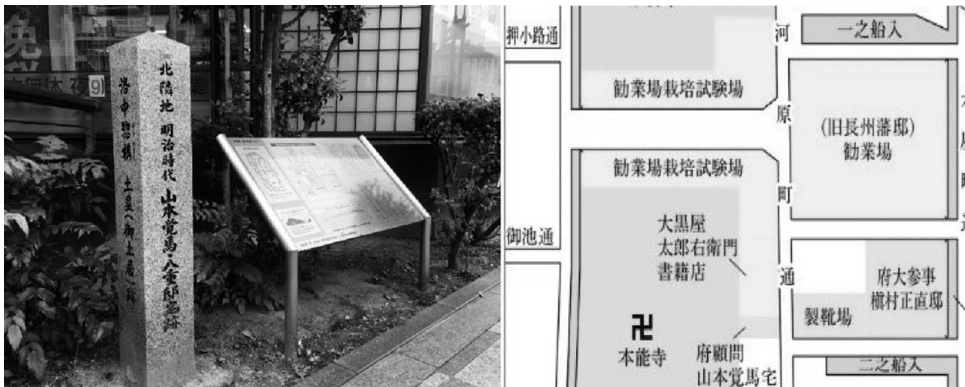


図47：河原町御池西南角に建つ山本覚馬・八重旧邸跡の記念碑（左側、筆者撮影）と維新後の覚馬邸付近の地図（右側、島津製作所提供）。当時の地図では河原町通りと御池通りは今のように拡幅されておらず狭いままとなっている。河原町通はその後の京都三大事業で拡幅されて市電が走り、太平洋戦争末期の防火対策により御池通が拡幅された際に覚馬邸は収容されて取り壊され、現在は御池通の歩道部分となっている。覚馬が京都府顧問に就任していた頃は、毎夜私塾が開催され、浜岡光哲、田中源太郎、中村栄助、雨森菊太郎、大沢善助ら、明治の京都政財界を背負うことになる面々が生徒として参集していた。彼らはその後の京都市の経済発展に貢献したのみならず、同志社大学構想や第三高等学校の京都移転（この移転がなかったら京都帝国大学は大阪にできたと思われる）や立命館大学設立の応援団として重要な役割を果たしていくこととなったのである。

覚馬の私塾では、榎村正直（第二代京都府知事）、松田道之（後に滋賀県知事や東京府知事）、浜岡光哲（京都新聞創業者で京都府会議員、衆議院議員を歴任）、田中源太郎（京都銀行設立者で衆議院議員、貴族院議員を歴任）、中村栄助（実業家で京都府会議員、衆議院議員を歴任）、雨森菊太郎（京都府会議員、衆議院議員を歴任）、大沢善助（京都電気鉄道取締役、京都府会議員を歴任）らが学びました。

榎村は京都を去りましたが、覚馬の私塾で学んだ人々は京都の政財界で活躍を続けていき、新知事・北垣国道による琵琶湖疎水建設や、第三高等学校の京都府誘致にあたって

もその実現に協力しました。

## 【覚馬が八重に背負われ小野組転籍事件で逮捕された 榎村救出のため東京を走り回る】

榎村が京都府を去ることとなったのは、その強引な政治手法による京都府政の混乱を明治政府が懸念したためです。それを象徴する出来事のひとつが小野組転籍事件です。

明治6年（1873年）に東京での業務が増えていた京都の豪商・小野組が東京へ本社を移そうと考え、東京への転籍を京都府へ願い出ると、榎村は小野組から京都府へ納められる地方税が減ることを懸念して、それを握りつぶします。そればかりか、榎村は小野組の社長を呼び出して脅迫まがいのことをしました。小野組はそれに怒り京都裁判所へ訴え出ました。それは明らかな不法行為であり、裁判所は是正を命じますが榎村は従いません。

榎村の司法軽視の態度に司法卿・江藤新平が怒り、榎村を東京へ呼び出して収監します。榎村は木戸孝允に引き立てられた長州閥に属し、司法卿の江藤は佐賀閥に属し、長州閥の横暴を見て懲らしめる機会を狙っていました。江藤は木戸と刺し違える覚悟で榎村を東京へ召喚していたため、榎村はなかなか放免されませんでした。

そこで、覚馬は八重と共に人力車で東京に行き、目に加えて背骨も傷め歩行困難となっていたため、八重に背負われて江藤をはじめとする政府高官を訪問して榎村の赦免を嘆願しました（八重は重い鉄砲を操れただけあって人一倍力持ちだったのですね）。

覚馬の奔走にも関わらず、榎村ははかなか釈放されませんでした。岩倉海外使節団が帰国し、征韓論にくみした西郷や江藤らが政争に敗れ下野すると、木戸が事態収拾に動きまわります（その後に江藤は佐賀の乱で刑死し、西郷は西南戦争で戦死している）。京都府の違法行為に対して罰金が科され、小野組の本社東京移転が正式に認められたことにより、この問題は政治的・司法的に解決され、榎村は京都へ戻ることができました。この事件で覚馬と榎村の絆はさらに深まることとなりました。

しかし覚馬が新島 襄が創立した同志社英学校への肩入れを強めていくと、それを快く思わない榎村との関係に次第に隙間風が吹くようになっていきます。そしてついに二人は袂を分かつことになるのですが、それについては次のお話でみていきます。

## 【破産した小野組の番頭・古河市兵衛が渋沢栄一を危機から救った！】

小野組のその後ですが、政府が求めた公金取り扱い業者に対する担保提供に応じられなかったため、明治10年（1877年）に破産します。それによって小野組への多額の貸付金があり、渋沢栄一が経営トップであった発足したばかりの第一国立銀行が危機に直面しますが、小野組の番頭の古河市兵衛の第一国立銀行への善意ある対応により、第一国立銀行が危機を脱したことが、大河ドラマ「青天を衝け」で取り上げられていました。

小野組を切り盛りしていた古河市兵衛は、小野組の負債返済のため私財まで投げ出して

小野組を去ります。そして市兵衛は後に古河電気工業、富士電機、富士通の前身の会社を設立します。その時に、栄一は恩返しの意味も込めて全面的にバックアップしたため、会社は軌道に乗り今日の古河電気工業、富士電機、富士通に繋がっています。

なお、筆者が調べた範囲では、覚馬と洪沢栄一との交流を示す資料や文献はありませんでした。とはいえ、かたや京都の立役者で、かたや日本経済の立役者なので、どこかに接点があったのではないかと筆者は思っています。

(第八話へ続く)



## 子夜呉歌

第三錦林班 渡邊和朗

秋が深まるにつれて青い空の下、あっという間に庭の金木犀の黄色い花が満開になり、あたりの地面を黄色く染めてせわしく散ったと思うと自宅の茶色い垣根にキバナコスモスが風に揺れて気温も少し前の酷暑が信じられないくらいになります。子供の頃、秋の午後に京都の町なかにあった自宅二階の奥の間から眺めると近所の家の屋根や外壁、物干しの間の狭い空も真っ青であくまで高く、白い雲が上空は風が強いのかどンドン流れて行きます。ここでは通りの物音も遠く聞こえ近所の家の話し声や生活音がかえって静けさを感じさせます。秋風がガラス戸をカタカタ鳴らし近所の物干しの洗濯物が風にゆれています。物干しの奥の窓際にお勤めに出ている若い女の人の明るい色の洋服が陰干しされているのが見え、前栽や庭先の植木と共にあたりの景色に華やかな色どりを添えていることもありました。柔軟剤などなかった時代、洗濯したての衣類のパリッとした肌ざわりは清潔感があってむしろ心地よいものでした。古い時代には洗濯した布地を砧で柔らかくする槌の音が秋を感じさせる風物だったようです。

「み吉野のやまのあきかぜ小夜ふけて ふるさと寒く衣うつなり」(新古今和歌集 秋歌下 参議 雅経)。吉野の山からの秋風が吹く夜更け、静まり返った吉野の里、砧を打つ音が一層、晩秋の寂寥感を募らせ作者の心象風景をも表現するしみじみとした良い歌です。百年以上前の正岡子規大先生のおかげで今日に至るまで万葉集だけが素晴らしくて古今和歌集や新古今和歌集は陳腐なつまらない歌とされることも多いようです。正岡子規の意見も当初はマンネリを破る革新的なものであったのですが、いまだにそれに呪縛されています。古今集・新古今集は今ではもうほとんど失われた日本人の繊細な感性をあらわしています。そのあらわすものは実に美しいイメージで何よりも猛々しいものはなく平和な心情にあふれていて心に響くものです。古今集、紀友則の歌に「ひさかたの光のどけき春の日に しづ心なく花の散るらむ」という歌があります。風もないのに柔らかな淡い光の中で音もなく散る桜の花びら、その中にたたずむ人。時の止まったような物音一つしない情景が浮かんできます。不思議なこの世のものとは思われない世界です。悠久の自然とその中の儂い人間ということまで感じさせる不思議な感覚の歌です。これは如何でしょうか「長からむ心も知らず黒髪の 乱れて今朝はものをこそ思へ」(千載集 待賢門院堀川)、「黒髪の乱れも知らずうち臥せば まづかきやりし人ぞ恋しき」(後拾遺集 和泉式部)。黒髪を乱してうち伏し恋に悩む十二単の王朝の貴婦人。実に生々しい妖艶な歌です。

そして参議 雅経による「み吉野の～」という歌の本歌とでもいうのが唐の詩人李白の子夜呉歌です。「長安一片月／万戸擣衣声／秋風吹不尽／総是玉関情／何日平胡虜／良人罷遠征：長安一片の月／万戸衣を擣つ声／総べて是れ玉関の情／何れの日にか胡虜を平らげ／良人征戦を罷めん」。元は東晋の子夜という女の人が作った曲でとても哀調を帯びて人々の心に触れ大いに流行したということです。それに倣ったものが子夜呉歌として多く作られたようです。晩秋の月明かりに照らされた長安の町のあちらこちらから砧の音が聞こえる秋風の吹く夜更け、戦地にいる夫の身を案ずる妻の心情を歌っています。古来、下二句は蛇足で上四句だけのほうが余情が深いという説も多いようです。私は下二句があることにより、月明りの下、寝室の窓際に立って、夫を案じ、一日も早い帰りを待つ憂いをおびた妻の横顔が浮かび、より一層哀切の情が深まるように思います。下二句を省くと戦地の夫を案ずる妻の悲しみという主題が骨抜きになり権力者にとっては都合の良いものとなります。

国防が声高に語られる今日、軍拡・増税の日本も唐代の詩人、杜甫の兵車行、石壕の吏の世界へまっしぐらのように見受けられます。日本でも権力者の私利私欲で民衆が兵隊に取られ家族の知らない土地で野垂れ死にすることを名誉の戦死と称しています。ちなみに「君不見青海頭／古来白骨無人収：君見ずや青海のほとり／古来白骨収る人無し」（兵車行）。唐時代の詩人、王翰の涼州詞には「古来征战幾人回：古来征战幾人かかえる」とあります。貴重な社会の担い手を使い捨て国力の衰退は必至です。戦地に送られた民衆は被害者であるだけでなく、その地の特に民衆に対して凶悪な加害者となります。ウクライナ・ロシアの戦争は異論があるかもしれませんが正義にこだわって戦争を続けるより、即時停戦すべきというのが私見です。まず停戦して旧状復帰に努力すべきです。どんな理由であれ戦いが続けば双方共、毎日たくさんの方が亡くなり、亡くなった人は決して帰ってきません。ウクライナ人の命もロシア人の命もどちらも等しく大切な命です。また、劣化ウラン弾に対し唯一の核兵器被爆国である日本から反対の声が上がらないのも憂慮されることです。本格的に使用されると深刻な核汚染を引き起こします。戦争を止めさせることのできる唯一の国家であるアメリカは支援と称して戦争を煽っていて世界平和のリーダーとは言い難い状況です。新たにパレスチナでアラブとイスラエルの双方が互いに自分たちの正義を振りかざし、激しい不毛な戦いを始めました。戦争はいつも平和や正義を口実に行われます。

## 編 集 後 記

急に冷え込んでまいりました。お忙しい診療業務の合間に、秋の学会や研究会にご参加される先生もおられるでしょう。本年は現地開催や情報交換会が少しづつ復活しているようです。同業や近隣の先生方と直接現地でお会いできる喜びとオンラインの利便性、どちらもありがたく、COVID-19感染拡大を機に多様な開催形式が定着したことは、この困った疫病がもたらした数少ないよき変化だと思っています。

そして、今号掲載の松岡先生の京都府医師会懇親ゴルフ大会ご報告原稿を読み、振り返ってわが身の運動不足を反省することしきり、です。「学問の秋」、「スポーツの秋」、「食欲の秋」、人それぞれ、会員の皆様の秋が充実したものでありますことをお祈り申し上げます。

医報担当 兵庫美砂子

## ホームページコーナー

URL <https://www.sakyo.kyoto.med.or.jp>

左京医師会では、ホームページを開設しております。皆様のアクセスをお待ちしております。また会員メーリングリストの運営を行っていますので、参加ご希望の方は医師会事務所までご連絡ください。 情報広報委員会

## 左京医報投稿のお願い

原稿締切 毎月 15 日  
発行 翌月初旬(合併号はこの限りではありません)  
内容 随筆・感想文・旅行記などを募集しております。また、表紙に絵画・書・写真などを左京医報へ掲載していただける先生がおられましたら、お気軽に事務所か兵庫美砂子までご連絡をお願いします。

### 左京医報 2023 年 11 月号(691 号)

発行日	2023 年(令和 5 年) 11 月 1 日	発行人	塩 見 聡 史
発行所	一般社団法人 左 京 医 師 会	編集人	兵 庫 美 砂 子
	京都市左京区岩倉大鷲町422番地	印刷所	(株)こだま印刷所
	電話 (075) 701-1500		電話 (075) 841-0052
	FAX (075) 701-1751		FAX (075) 811-7873
	E-mail <a href="mailto:info@sakyo.kyoto.med.or.jp">info@sakyo.kyoto.med.or.jp</a>		E-mail <a href="mailto:mail@kodamap.co.jp">mail@kodamap.co.jp</a>